

きょうは、小学校の社会見学で出光の製油所に行きました。製油所の中は芝生の広場や、大きな木や池があって、まるで緑いっぱいの公園みたいでした。ぼくたちを案内してくれた製油所のおじさんが、「ここでは、石油のおおもとの原油から自動車を走らせるガソリンやストーブに使われる灯油、大きな船を動かす重油、プラチスックなどの原料になるナフサなどをつくっています。」と教えてくれました。

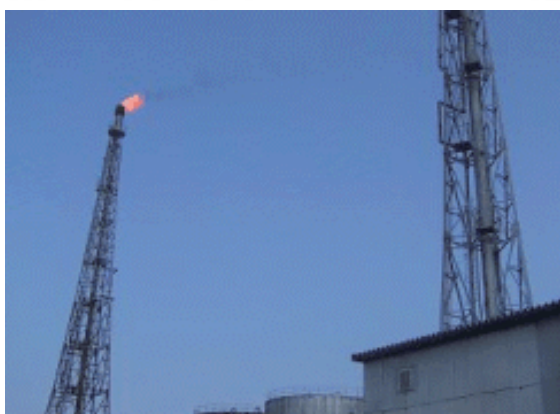
そのとき突然、友達が「煙突から炎が出ている！」とびっくりした顔で指をさしました。おじさんは、「あれはフレアスタックといって、原油からいろいろなものをつくるときにどうしても出てしまうガスを安全に排出させるために工夫された煙突なんだよ」と教えてくれました。

おじさんは、「製油所では、環境を汚さないようにほかにもさまざまなことに、気をつけているんだ。」と言って、あちこち案内してくれました。「たとえば、石油の中から、酸性雨の原因となる物質を取り除いたり、煙突から出る煙をきれいにしたりね。また、職場でチームをつくって省エネ活動に取り組んだり、プラスチックくずなどを燃料としてリサイクルするなど、製油所から出るゴミをゼロにすることにも取り組んでいるんだよ。」と言っていました。ぼくは、「だから製油所の中はこんなに緑いっぱいキレイなのか。」と感心しました。

製油所で聞いたお話をうちに帰って、ママに教えてあげました。ママは「石油って身の回りのいろいろなものに使われているのね。うちも出光の製油所みたいに、資源をムダなく使ったり、ゴミを減らしたりしなきゃね。」と言いました。



製油所の中は公園みたいだ！



安全のための炎なんだね。



環境のための取り組みなんだね！